

【Q】77歳男性です。6年前に左胸部の帯状疱疹を患い、痛みは2年間継続しました。その後も天候が悪くなると、針で刺されたような痛みが起きます。医療機関を受診した方がよろしいのでしょうか。

【A】帯状疱疹は、子供の時にかかった水痘（水ぼうそう）の原因ウイルスが神経の中に潜んでいて、数十年もたつてから何らかのきっかけで再び表に現れてくるウィ



12

带状疱疹で続く痛み

ルス感染症の一種です。60歳以上の方に多く見られ、疲れていたり、体の抵抗力が落ちていたりするときに発症します。

帯状疱疹にかかると、痛みと小さな水ぶくれが現れます。この段階で虫刺されや湿布かぶれと間違えるケースも多いので、注意が必要です。皮膚の症状や痛みは治療を受ければ普通はそのうちに治りますが、皮膚の症状が消えた後にも痛みが残る場合もあります。これを帯状疱疹後神経痛といい、最も頻度の多い合併症です。

小松原 敬之
こまつばら たかゆき



小松原ペインクリニック（足利市）理事長。日本ペインクリニック学会認定医。群馬大卒。53歳。

併症です。

治療法ですが、痛みが強い場合は、早期のうちから痛みを積極的に取り除くことが重要です。薬物療法としては、特効薬である抗ウイルス剤の他にプレガバリンなどの神経障害性疼痛治療薬を使用します。また、ペインクリニックで施行されている神経ブロック療法が効果的であり、早期に施行するほど、血流を回復させ、帯状疱疹後神経痛に移行しないというデータが多く出ております。

今回の症例においては、帯状疱疹後神経痛の典型的なケースです。

で、痛みの治療をしている病院を受診されるのが望ましいと考えます。ただし、天候に左右されるということですので、痛みときのみ治療を受けるようなことも可能かもしれません。

また、痛みと上手に付き合うことも重要です。で、「気分転換にお風呂でゆっくり温まる」「冬は保温し、夏はクーラーの風に直接当たらない」など工夫してみるのもよいかもしれません。



左は腰部带状疱疹。皮疹はひどいが、神経痛は完全に消失した。右は三叉神経第Ⅰ枝（頭部）带状疱疹。神経痛は残存している

最近、欧米では60歳以上の带状疱疹を発症していない人にワクチン接種が勧告されております。日本では带状疱疹予防目的のワクチン接種は未認可ですが、水痘予防ワクチンを用いた自費接種が行われてきており、一定の効果を上げているようです。（第2、4金曜日掲載）

神経ブロック療法効果的

ドクターへの質問を募集します。お寄せいただいた中から毎月2件、紙面で回答します。病気の症状や経過などをなるべく詳しく書いてください。名前（匿名可）、年齢、性別、連絡先（住所、電話番号）を明記し、〒320-0868、下野新聞社くらし文化部「健康よろず相談室」係へ。住所不要。FAX（028・625・1185）、メール（dotoko@shimotsuke.co.jp）でも受け付けます。